

財政事情の公表

光町告示第21号

光町財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき昭和63年4月1日から9月30日までの財政事情を公表します。

昭和63年11月5日

光町長 齊藤 讓



光町長 齊藤 讓

本年度上半期の町の財政事情は、収入及び事業執行とも良好な状態であると考えております。

収入については、昨年度の同時期と比べて収入率こそ56.1パーセントと昨年度(60.1パーセント)を下回ってはいるものの、収入済額は昨年度対比11.3パーセント増の15億5,867万円となっており、順調は収入状態といえましょう。下半期も上半期と同様に順調な収入が予想されるところでありますが、特に、町税は、国の減税政策による景気浮揚、あるいは固定資産の評価替等により、決算額では昨年度(6億377万円)を上回るものと見込んでおります。また、地方交付税は、特別交付税の決定額が未確定ではありますが、普通交付税が10億5,890万円に確定しております。これは昨年度決定額に比べて8.5パーセントの伸びを示しております。

事業執行については、執行率(支出済率)が33パーセントであり、低い数値とも思えますが、事業費が後払いであることが多いことを考えますと、順調に事業が執行されているものと考えております。特に運動公園、光工業団地は請負契約締結が済み、いよいよ造成工事に取りかかることになっており、本格的な事業が展開されます。

この事業が完成することにより、当町のレクリエーションの場、雇用の場確保に多大なる効果をもたらすものと確信しております。町債についても計画通り償還しており、未払残高は確実に減少しているところであります。

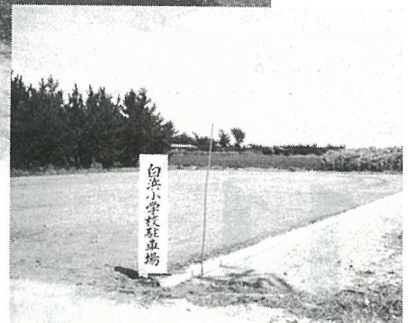
下半期についても、経常的経費節減に努め、計画的な事業執行により、健全な財政運営を行う考えですので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



新農業構造改善事業により完成した入ライスセンター



整備前



整備された
白浜小学校駐車場

整備後